

11月1日は 「いわて教育の日」です

いわての明日を担う子どもたちのために、あらためて教育について考えてみませんか。

- ◆ 「いわて教育の日」は、平成17年に、県民のみなさん一人ひとりが教育について考える契機として設けられました。
- ◆ いわての未来を担う心豊かな子どもたちを育むとともに、東日本大震災津波からの学びの復興を図るためには、学校、家庭、地域社会がそれぞれの役割を担い、連携し、一体となってよりよい教育環境を整えていくことが求められています。
- ◆ この日を機会に、地域社会の中でお互いの立場や世代を超えて交流し、「教育」とは何かを考え、学びあうことから始めてみませんか。

入場料
無

「いわて教育の日」

のつどい ~学びと絆で 夢と未来を拓き
社会を創造する人づくり~

期日

令和5年11月9日(木)13:00~(12:30開場)

会場

トーサイクラシックホール岩手(岩手県民会館)
中ホール 盛岡市内丸13-1

内容

第一部 開会行事

- (1) 開会行事
- (2) 教育表彰(事績顕著者表彰)

第二部 生徒による発表

- (1) 軽音楽 県立盛岡南高等学校 軽音楽部
- (2) 合唱 一関市立磐井中学校 合唱部

第三部 講演

講師 独立行政法人教職員支援機構理事長 中央教育審議会会長
荒瀬 克己 氏

演題 未来に向けた教育の在り方について

- ◆ 総合司会 ブラネン 愛那 さん(私立盛岡白百合学園高等学校2年)



荒瀬 克己(あらせ かつみ) 氏

京都市立堀川高等学校長、京都市教育委員会教育企画監、大谷大学文学部教授、関西国際大学学長補佐、兵庫教育大学理事等を経て現職。現在、中央教育審議会会長、初等中等教育分科会長、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた学校教育の在り方に関する特別部会長のほか、高等学校教育の在り方ワーキンググループ主査、質の高い教師の確保特別部会、教員養成部会等の委員、今後の教育課程、学習指導、学習評価等の在り方に関する有識者検討会委員、学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議主査等を務める。

11月1日から7日までの1週間は「いわて教育週間」です。

岩手県教育委員会

岩手県教育委員会 経営計画

岩手県教育委員会では、児童生徒が、変容する社会に適応し、社会を創造するための「生きる力」を身に付け、岩手の未来を切り拓いていけるよう、また、人生100年時代を迎えるに当たり、社会のデジタル化の加速に対応し、一人ひとりの人生が豊かで活気ある地域社会の形成に教育分野から貢献できるよう、学校教育や社会教育・家庭教育の推進を図っていきます。

東日本大震災津波からの教育の復興

I きめ細かな学校教育の実践と教育環境の整備・充実、復興を支えるひとづくりの推進

- ・ 幼児児童生徒の心のサポート
- ・ 安心して学べる環境の整備
- ・ 「いわての復興教育」などの推進

II 文化芸術環境の整備や伝統文化などの保存と継承

III 社会教育・生涯学習環境の整備

IV スポーツ・レクリエーション環境の整備

V 教訓を伝承する仕組みづくり

いわて県民計画・岩手県教育振興計画の着実な推進

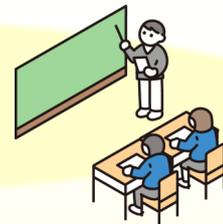
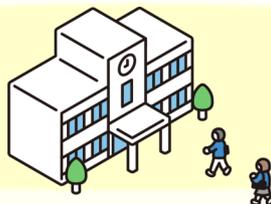
I 学校教育の充実

- ・ 岩手で、世界で活躍する人材の育成
- ・ 確かな学力の育成
- ・ 豊かな心の育成
- ・ 健やかな体の育成
- ・ 特別支援教育の推進
- ・ いじめ問題・不登校対策等への確かな対応
- ・ 学びの基盤づくり

II 社会教育・家庭教育の充実

- ・ 学校と家庭・地域との協働の推進
- ・ 子育て支援や家庭教育支援の充実
- ・ 生涯にわたり学び続ける場づくり
- ・ 次世代につなげる郷土芸能や文化財の継承

III 業務推進の基本姿勢



いわて教育の日・いわて教育週間に 関連した取組にご参加ください。

「いわて教育の日」及び「いわて教育週間」(11月1日から7日まで)を中心とした10月~11月の期間には、県をはじめ、市町村、学校、教育に関する各種団体の様々な行事・取組が実施されます。

各種団体の行事・取組については、岩手県教育委員会事務局のホームページにも掲載しております。

皆さんもぜひご参加ください！

《行事の例》 教育講演会、博物館講座、スポーツ教室、マラソン大会、文化祭 など



詳しくは岩手県教育委員会事務局のホームページをご覧ください

いわて教育の日

検索



お問い合わせ先

岩手県教育委員会事務局教育企画室

TEL 019-629-6106 / FAX 019-629-6119 / E-mail DB0001@pref.iwate.jp